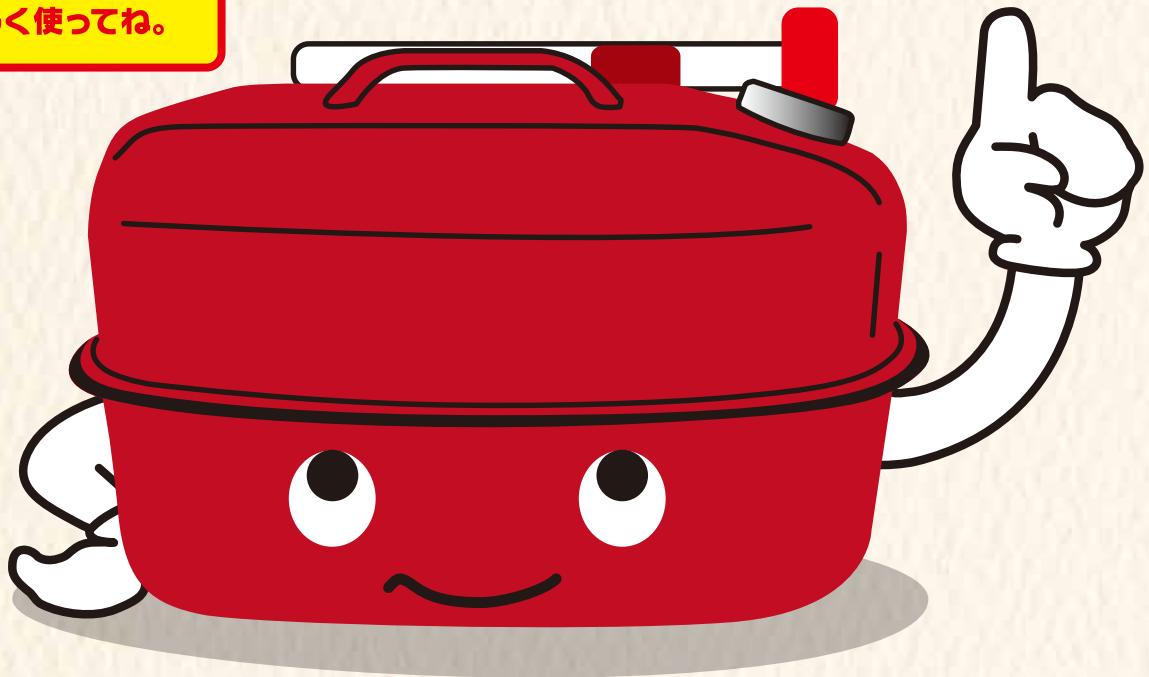


ガソリン携行缶を正しく使って 安全・安心に!!

～思わぬ事故のないように～

裏面をよく読んで、
正しく使ってね。

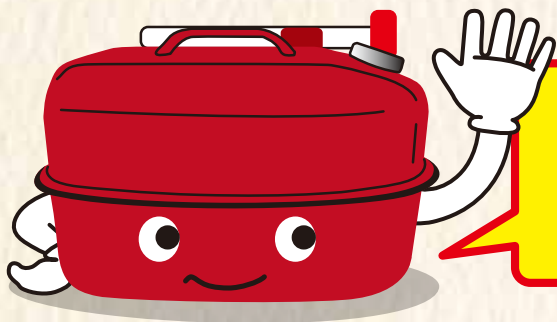


※写真は試験確認済ガソリン携行缶の商品一例です。



危険物保安技術協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 (神谷町セントラルプレイス)
TEL. 03-3436-2353 <http://www.khk-syoubou.or.jp/>

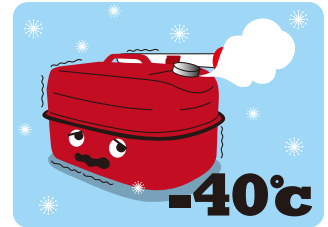


ガソリン携行缶を安全・安心 に使う5つのポイント

1

ガソリンの危険性について

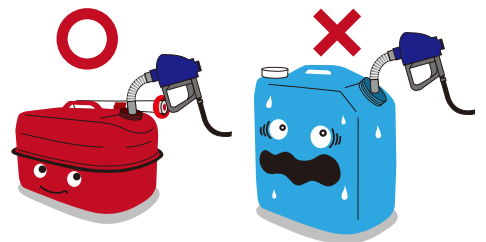
ガソリンは気温が-40℃でも気化し、小さな火源でも引火し、爆発的に燃焼する物質です。(軽油は+40℃で気化します。)



2

ガソリンを入れる容器について

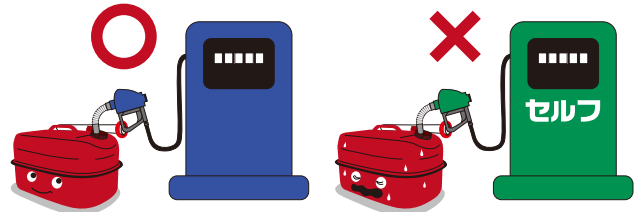
ガソリンを入れる容器は、消防法令により一定の強度のある材質を使用すること、容量が制限されています。特に灯油用ポリエチレンかんにガソリンを入れることは非常に危険ですのでやめましょう。



3

ガソリンの購入について

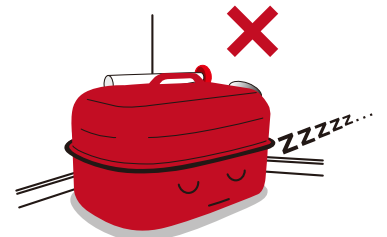
ガソリンの購入は、消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください。(セルフスタンドでは、利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません。)



4

ガソリンの保管について

ガソリンは、揮発性が極めて高く、火災が発生すると爆発的に広がるので、ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。



5

ガソリン携行缶の取扱いについて

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等、注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告がありますので、使用時には取扱説明書をよく読み、適正な取扱いをしてください。



ラベルのついた
確かな製品を
選びましょう

「試験確認済証」が安心の印です。



ガソリン携行缶には、使用上の注意事項が表示されています。よく読んで安全にお使いください。
このラベルは、消防法による容器性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。